

内閣府国民生活局総務課
調査室 葛城、田畑
(電話：03-3581-0738)

平成19年8月24日
内閣府国民生活局総務課調査室

平成18年度国民生活モニター調査結果（概要）

（家族のつながりに関する調査）

1. 調査目的

昨今、現代の家族の形や生活スタイルに相応しい形での家族の「つながり」を求める動きが見られる。今回の調査は、家族の「つながり」の実態や新しい形の「つながり」の事例及びこれに対する国民の考え方等について幅広く調査することを目的に実施した。

2. 調査期間

平成19年3月2日（金）～平成19年3月13日（火）

3. 調査の方法と対象者

- 全国の国民生活モニター：2,000人に対するアンケート調査
 - 郵送モニター（郵送調査） 1,350名
 - 電子モニター（インターネット調査） 650名
- 有効回答者数：1,828人（回収率：91.4%）

4. 回答者の属性

（1）性別

男性	429人 (23.5%)
女性	1,395人 (76.3%)
無回答	4人 (0.2%)

(2) 年齢

20～29 歳	78 人 (4.3%)
30～39 歳	360 人 (19.7%)
40～49 歳	496 人 (27.1%)
50～59 歳	413 人 (22.6%)
60～69 歳	325 人 (17.8%)
70 歳以上	153 人 (8.4%)
無回答	3 人 (0.2%)

(3) 職業

正社員 (公務員を含む)	330 人 (18.1%)
パートタイム従業者、アルバイトなど正社員以外の被雇用者	446 人 (24.4%)
会社、団体などの役員	35 人 (1.9%)
自営業 (農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む)	128 人 (7.0%)
専業の主婦・主夫	622 人 (34.0%)
学生	10 人 (0.5%)
無職 (専業の主婦・主夫を除く)	204 人 (11.2%)
その他	50 人 (2.7%)
無回答	3 人 (0.2%)

5. 調査結果の概要

(1) 家族とコミュニケーションを密に取る工夫をしている人は5割程度

平日における家庭内での過ごし方としては、「家族が集まって会話や団らんをしている」よりも「家族がそれぞれ自分の用事をしている」と回答した人の割合が高くなっている（問6）。

同居家族・別居家族とコミュニケーションを密に取る工夫を、日常生活のなかで「している」と回答した人の割合は5割程度となっている（問1、問2）。自由回答では、時間を合わせて一緒に食事や外出をしたり、電話やメールを頻繁にしたりしているとの回答が多くなっている（付問1-1、付問2-1）。

(2) 家族と一緒に実施している割合が高いのは「お正月」や「お盆」

年間行事のうち、同居家族・別居家族共に一緒に実施しているとの回答の割合が高かったのは、「お正月」（同居家族78.9%、別居家族54.5%）「お盆」（同居家族57.8%、別居家族44.9%）である（問3）。

また、同居家族については「家族の誕生日」（67.8%）、「結婚記念日」（42.2%）、「母の日」（41.9%）、「子どもの学校関係の行事（運動会、学芸会など）」（38.2%）、「父の日」（38.0%）など、家族に関係のある行事と一緒にいるとの回答の割合も相当数を占めている。

さらに、自由回答からは、年間行事以外にも、毎年の家族旅行、地域行事への家族参加、墓参時における親類との食事会など、時間を設けてさまざまな行事を行っている様子が窺える（付問3-1）。

(3) 子ども専用の部屋がある家庭が7割弱

子どものインターネット、テレビゲーム、携帯電話の使用について家庭内ルールを設けているかを尋ねたところ、ルールの設定率が一番高いのはテレビゲームで38.6%となっている。反対にルールの設定率が一番低いのはインターネットで41.0%となっている（問7）。

子ども専用の部屋があるかを尋ねたところ、「ある」と回答した人の割合が7割弱を占め、子ども専用の部屋があることの良い点としては、集中して勉強できることや、部屋の片付け・掃除などを通じて自立性が身に付くことをあげる親が多くなっている。一方、部屋があることの悪い点としては、部屋にこもり、家族団らんが少ないことや、子どもの様子がわかりづらいことをあげる親が多くなっている（問8、付問8-1）。

(4) 家族がいることを肯定的に評価する人が大多数

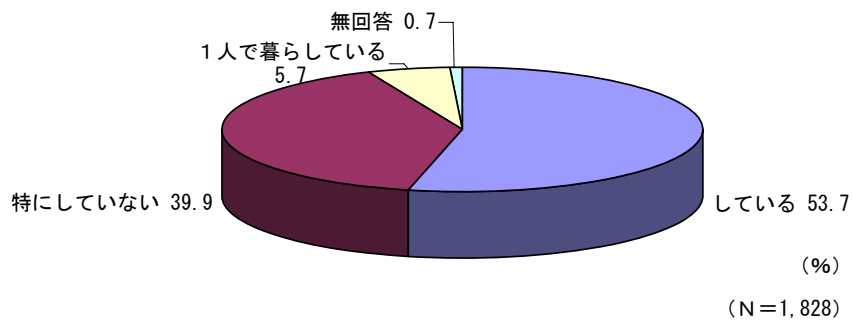
家族がいて「よかったと思う」と回答した人の割合は、97.6%に上っている（問10）。自由回答では、精神的な充実感を得られること、子育ての楽しさを味わえること、困った時に助け合えることを良かったと思う理由に上げる人が多くなっている（付問10-1）。

6. 質問と回答

【全ての方にお聞きします。】

問1 家族と一緒に過ごす時間や行動を共にする機会が減ってきていると言われていますが、あなたのご家庭では、日常生活の中でそのような機会を設ける工夫をしていますか？同居している家族についてお答えください（〇は1つだけ）

家族と一緒に過ごす時間や行動を共にする機会を設ける工夫



日常生活の中で、工夫を「している」人の割合が53.7%、「特にしていない」人の割合が39.9%となっている。

【問1で「1. している」と答えた方にお聞きします。】

付問1-1 では実際にどのような工夫をしていますか。具体的にご記入ください。

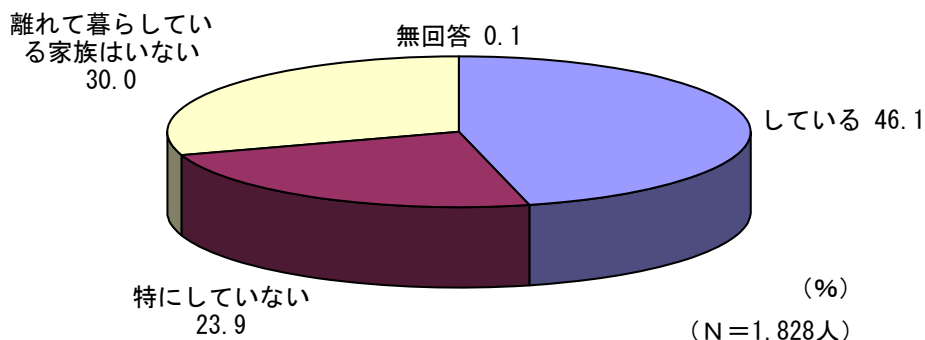
～「している」と答えた人の回答例～

- 夕食時には、テレビを消し、なるべく会話する。(40代女性)
- 家族の誕生祝い、季節ごとのイベント（クリスマス・ひな祭り）や記念日には、必ず家族揃って家で祝ったり、外食したり、年に1度位は一泊旅行するようにしている。(40代女性)
- 一日一度は一緒に食事をする。(30代女性)
- 休日は必ず家族で買い物に行く。家族共通の趣味を持つ。(30代男性)
- なるべく、一緒にの部屋にいて、たわいのない事でも話の話題として会話してる。(20代女性)
- 休日の予定を木曜日位から一緒に紙に書いている。休日は家族で何かイベントごとに参加する。(20代女性)

【全ての方にお聞きします。】

問2 あなたのご家庭では、離れて暮らしている家族に対して、定期的に会うための工夫や、会えなくてもコミュニケーションを密に取る工夫を日常生活の中で何かしていますか。(〇は1つだけ)

別居家族とコミュニケーションを密にとる工夫



日常生活の中で、工夫を「している」人の割合が46.1%、「特にしていない」人の割合が23.9%となっている。

【問2で「1. している」と答えた方にお聞きします。】

付問2-1 では実際にどのような取組をしていますか。具体的にご記入ください。

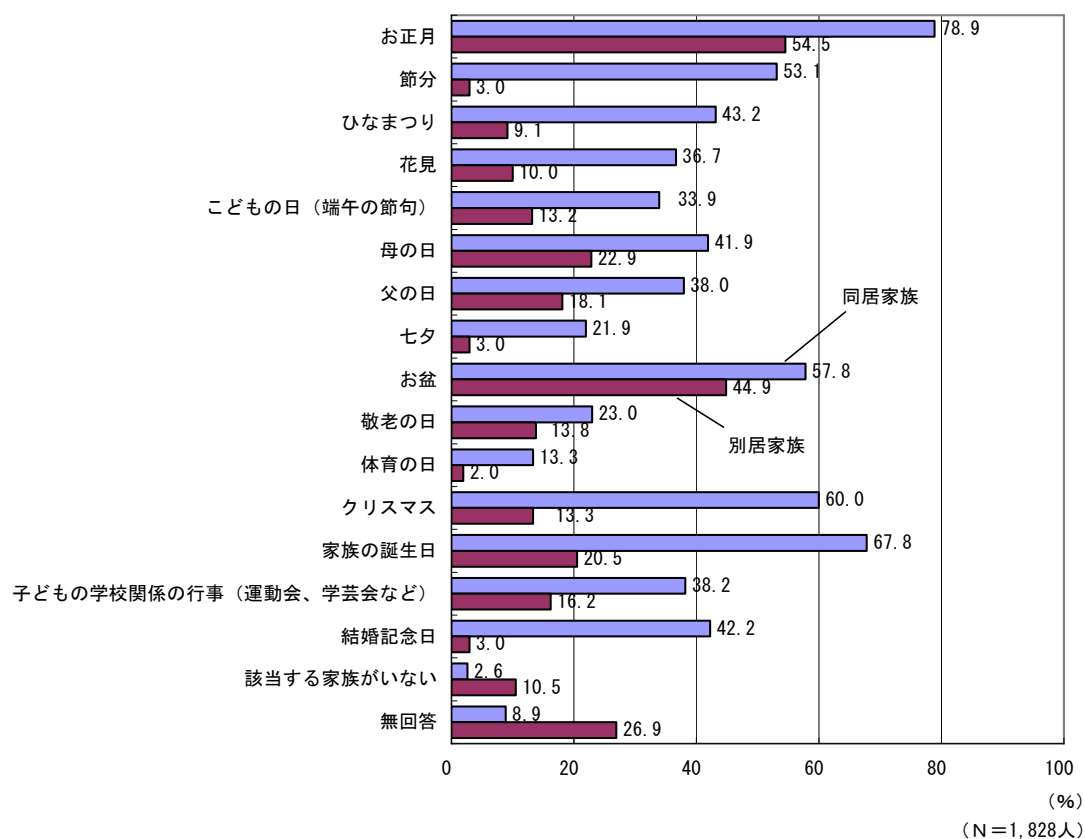
～「している」と答えた人の回答例～

- 時々、T e l やメールをする。T e l では子供に話させる。メールは写真も送る。(30代女性)
- お正月やお盆などに集まって食事をする。子どもの誕生日、運動会、学芸会などの行事を知らせて来てもらう。(40代女性)
- 妹とブログなどを利用してお互いの状況を分るようにはしている。(30代女性)
- 近所に住む次男家族とは週末に集まり、私の手料理で夕食会を開く。その時孫達と一緒に日本風家庭料理(昔料理)を作る。家族の誕生日には手作りケーキと一緒に作る。(60代女性)
- 近くにいる娘の家族とは月に3回～5回家事援助をしている(食事の仕度・孫の学校・幼稚園のお迎え・ピアノ教室送り迎え)。離れている息子の家族とは電話、ファックス等で連絡し合いこちらから会いに出かける。(60代女性)

【全ての方にお聞きします。】

問3 以下の年間行事の中で、家族と一緒に実施しているものはありますか。同居家族・別居家族それぞれについて、あてはまるものすべてに○をして下さい。

年間行事の中で同居家族・別居家族と一緒に実施しているもの



同居家族と一緒に実施している年間行事は、割合の高い順に、「お正月」(78.9%)、「家族の誕生日」(67.8%)、「クリスマス」(60.0%)、「お盆」(57.8%)となっている。

別居家族とは、「お正月」(54.5%)、「お盆」(44.9%)と一緒に実施しているとの回答の割合が高くなっている。

付問3-1 上記以外で、家族がそろって行う特別な行事やイベントがあれば具体的にご記入下さい（同居家族・別居家族問いません）。

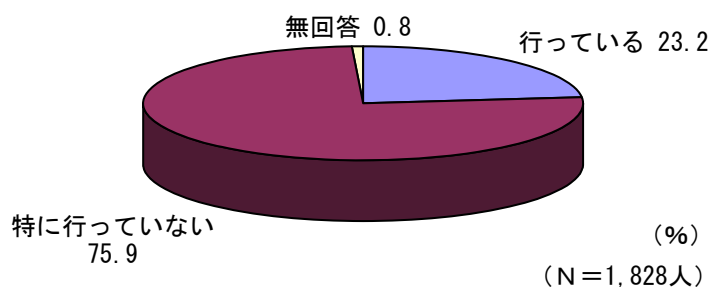
～回答例～

- 毎年、子供達の夏休みには「家族恒例温泉お泊り旅行」という名目で行き先を家族で計画して出かけます。（40代女性）
- 毎年正月には、3泊4日で旅行（海外を含む）をし、行く先々の正月模様を楽しんでいる。孫のピアノ発表会には、必ず両家族一同で応援がてらビデオ撮影をして記念上映の機会を持っている（食事会込み）。（70代男性）
- 地域の花火大会、地域のお祭りにはみんなで過ごす機会にしている。お盆、お彼岸など先祖のお墓参りにも皆で一緒に行くようにしている。（60代男性）
- 老親を連れて、お墓参りに行き、温泉に寄って、兄弟姉妹もまじえて、数日過ごす。老親の祝い（卒寿）等に、親類が集まる。忘年会等をする。（60代女性）
- ボーナスが出たときに、家族全員で外食に行く。（40代女性）

【全ての方にお聞きします。】

問4 あなたのご家庭では、家族の絆や一体感を高めるための取組を何か行っていますか。（○は1つだけ）

家族の絆や一体感を高めるための取組み



家族の絆や一体感を高めるための取組を「行っている」人の割合が23.2%、「特にやっていない」人の割合が75.9%となっている。

【問4で「1. 行っている」と答えた方にお聞きします。】

付問4-1 どのような取組を行っていますか。具体的にご記入ください。

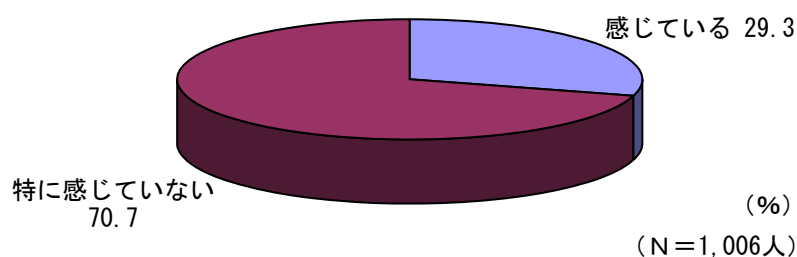
～「行っている」と答えた人の回答例～

- 中2の孫にあわせた本（伝記物）を選んで皆が読んだ感想文を交換しあう。テレビの視聴後の感想などを話しあう。（60代女性）
- 家族全員が必ず家の仕事をするよう役割分担している。あいさつをする。（40代女性）
- 家庭（わが家）や世界、地域社会の十大ニュースを年度末に日記に書き、家族史となっている。（60代女性）
- リビング家族と呼ばれるほど、常に、リビングでそれぞれの用事を行う。（50代女性）
- 事ある毎に写真を撮ること。特に老母や孫の笑顔スナップは欠かさないようにしている。（70代男性）

【あなたの子どもが高校生以下の方にお聞きします。】

問5 あなたのご家庭では、仕事などが忙しいためお子さんに対してしつけや社会生活を送る上での知識やルール等を教える時間が十分取れていないと感じていますか。（○は1つだけ）

仕事のため、子どもにしつけ等をする時間が十分取れていないと感じているか



子どもが高校生以下の人に尋ねたところ、子供にしつけ等をする時間が十分取れていないと「感じている」人の割合が29.3%、「特に感じていない」人の割合が70.7%となっている。

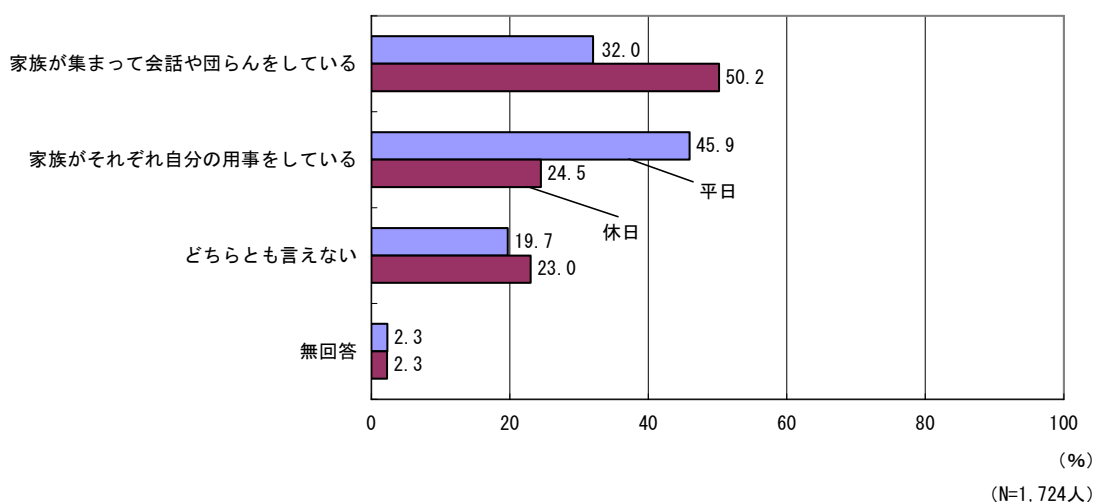
付問5-1 あなたのご家庭で、忙しい中でもしつけや社会生活を送る上での知識やルール等を教える時間を十分取るために留意していることがありましたら、具体的にご記入下さい。

- 自分でできる最低限の身の回りの事はしてもらおう。お手伝いをしてもらおう（食器洗い、洗たく物をたたんでしまう。簡単な調理等）。(40代女性)
- 子供達が小さな頃は色々な体験学習をしに出掛けた。今は二人の子供、どちらも家事はマメに手伝ってくれる。何でもやらせるようにしてきた。経済観念と許画性を持たせるため、こづかい帳もつけている。(40代男性)
- 新聞やテレビのニュースを話題にし、家族でのだんらんの時間に話し合っている。(40代女性)
- いろいろな社会活動や地域の活動に参加し、様々な人と交流する。(40代女性)
- いけないときは、怒る。できるだけ自然の中で遊ばせるようにしている。(40代男性)

【全ての方にお聞きします。】

問6 あなたのご家庭内で、同居の家族の方々はどのように過ごしていますか。平日・休日それぞれについて、次の中から最も近いと思われるものをお選びください（○は1つ）。

家庭内での同居家族の過ごし方



平日の家庭内での過ごし方としては、「家族がそれぞれ自分の用事をしている」との回答の割合が45.9%となっており、「家族が集まって会話や団らんをしている」との回答の割合の32.0%を上回っている。

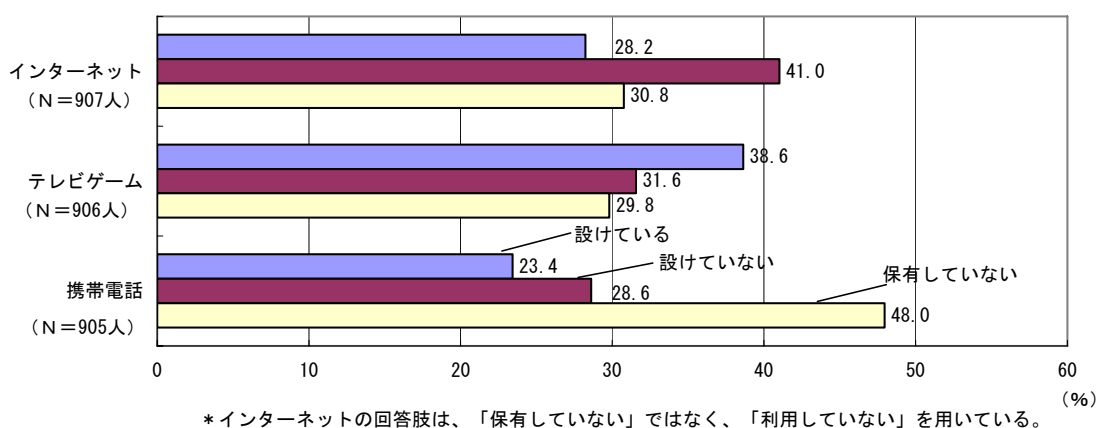
休日については、「家族が集まって会話や団らんをしている」との回答の割合

が 50.2%と、「家族がそれぞれ自分の用事をしている」との回答の割合の 24.5%を上回っている。

【あなたの子どもが高校生以下の方にお聞きします。】

問7 あなたのご家庭では、お子さんのインターネット、テレビゲーム、携帯電話の使用について、何かルールを設けていますか。設けている場合は、どのようなルールですか。それぞれについてお答えください。

子どものインターネット使用等に関する家庭内ルールの設定の有無



子どもが高校生以下の人に尋ねたところ、子どもの使用に際し、家庭内ルールを設定している割合は、テレビゲームが 38.6%、インターネットが 28.2%、携帯電話が 23.4%となっている。

また、テレビゲームについては、家庭内ルールを「設けている」が「設けていない」を上回っているが、インターネット、携帯電話については、「設けている」が「設けていない」を下回っている。

～「設けている」と回答した人の回答例～

【インターネット】

- 怪しいサイト、アダルトサイトなどには行かない（フィルター機能もつけている）。(40代女性)
- リビングにパソコンを置いて、親の目が届くようにしている。(40代女性)
- 使用時間を決めている。(50代女性)

【テレビゲーム】

- その日にやらなくてはならないこと（宿題や手伝いなど）をすべて終えた後に行うこととする。(40代女性)
- 友達と遊ぶ時は、なるべくテレビゲーム以外で遊ぶようにさせている。(30代男性)

○雨の日や家から出れない日にしかできない。(30代女性)

【携帯電話】

○知らない人やサイトと接触しない。(40代女性)

○食事中的使用は禁止。(50代女性)

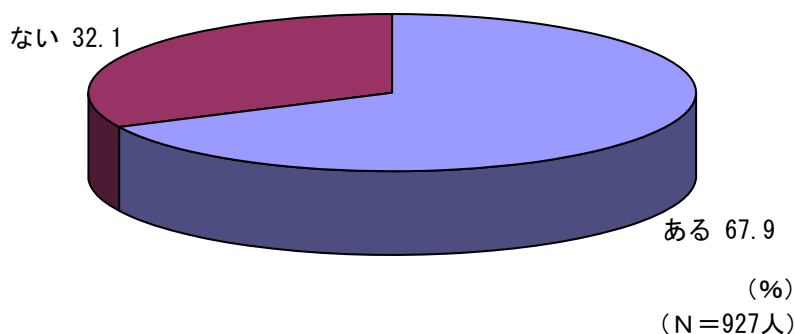
○決まった額よりオーバーした通話代はこづかいから払う。学校で没収されたら解約する。学習時電話を個室に持ち込まない。(40代女性)

○基本的には家族に連絡用に使用すること。(50代男性)

【あなたの子どもが高校生以下の方にお聞きします。】

問8 あなたの家には子ども専用の部屋がありますか。次の中から当てはまるものに○を付けて下さい。(○は1つだけ)

子ども部屋の有無



子どもが高校生以下の人に尋ねたところ、子ども専用の部屋が「ある」と回答した人の割合が67.9%、「ない」と回答した人の割合が32.1%となっている。

付問8-1 「1. ある」と答えた方は、子ども専用の部屋があることによる良い点、悪い点について、「2. ない」と答えた方は、子ども専用の部屋がないことによる良い点、悪い点について、具体的にご記入下さい。

～「ある」と答えた人の回答例～

- (良) 自分の身のまわりの整理をするようになる。勉強を集中してできるようになる。(悪) こもってしまうと様子がわかりづらい。(40代女性)
- (良) 子ども同士で遊ぶ空間がある。友達がよく集まる。(悪) ちらかず。かたづかなくなる。(20代女性)
- (良) プライバシーがあり、自由で安心出来る。(悪) 食事等以外専用の部屋にこもり、家族団らんが少ない。(40代男性)

～「ない」と答えた人の回答例～

- （良）友達が遊びにきても、目がいくので友人関係もわかる。勉強を見るのも、そばでするので教えやすい。（悪）片付けをきちんとなし。最後は大人がすることになる。子どもの友達がくると、親が居場所を失うこともある。（30代女性）
- （良）非行に走っていないかチェックできる。（悪）中学、高校になるとプライバシーが保てなくなる。学習への集中力が欠ける。（30代女性）
- （良）皆と共同で会話をする機会が多くなる。（悪）子供に構い過ぎてしっかりとしてない。（30代女性）
- （良）兄弟で話しをする機会が多い。（悪）試験の時期がちがう時は少し困る。（40代女性）

【全ての方にお聞きします。】

問9 あなたがお住まいの家づくりや間取りなどで家族のつながりを深めるために何か工夫をされていることがあればご記入下さい。

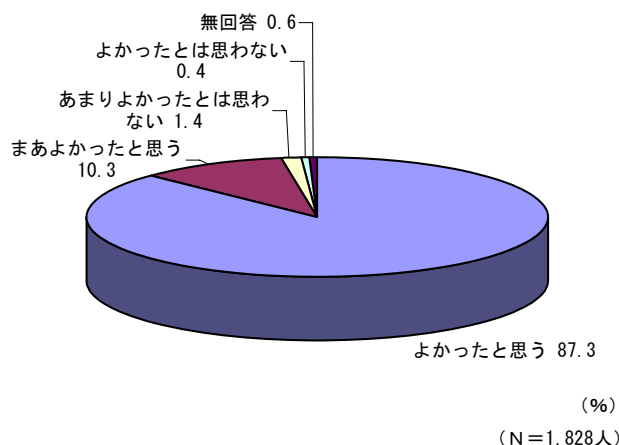
～回答例～

- リビングルームを広くもうけている。テレビはリビングだけ。リビングを通らないとそれぞれの部屋にいけない。（50代女性）
- 子供部屋にテレビ、オーディオ、ゲーム等を置かない。（40代女性）
- キッチン、ダイニング、リビング、家事コーナー等の間仕切りは設けず、バス、トイレ、洗面所等すべてバリアフリー化し、階段はリビングの中に設けている。（70代女性）
- 家族の気配を感じるために、原則、すべての部屋のドアは開けておく。（40代女性）
- みんなが集まる居間には百科事典や地球儀やパソコンなどを置いて、テレビを見ながら、みんなで調べたり楽しんだりできるようにしている。（40代女性）

【全ての方にお聞きします。】

問10 これまでに、家族がいてよかったと思いますか。(○は1つだけ)

家族がいることに対する評価



家族がいて「よかったと思う」人の割合が 87.3%、「まあよかったと思う」人の割合が 10.3%となっている。

【問10で1と2に答えた方、(家族がいてよかったと思う方)にお伺いします】

付問10-1 これまでに、家族がいてよかったと思ったことがある方は、それがどのような時か、具体的にご記入ください。

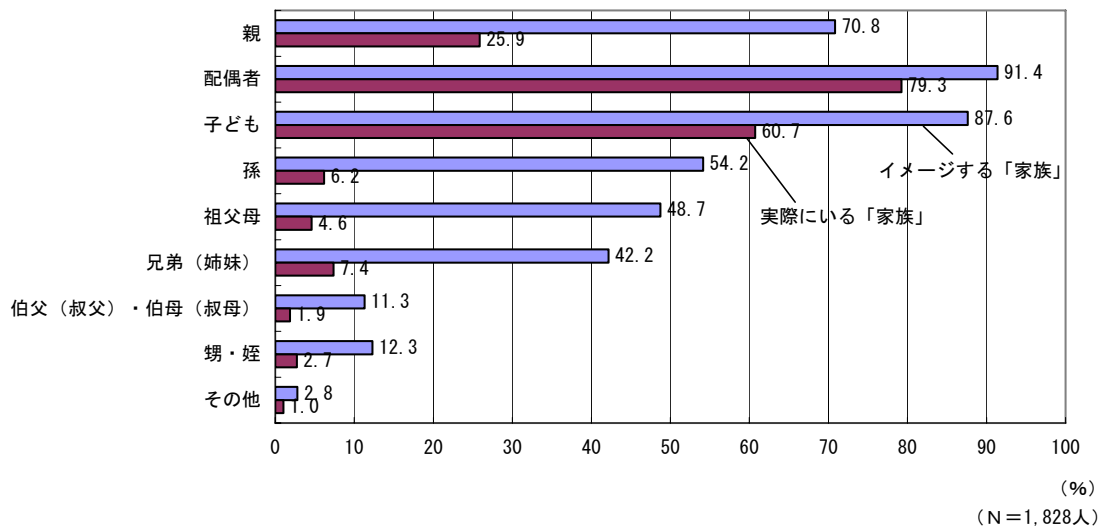
～「よかったと思う」、「まあよかったと思う」と回答した人の回答例～

- 家族が居る家に帰る安心感は毎日感じている。存在自体が必要不可欠なものになっている。(30代男性)
- 言葉には出さなくても精神的に繋がっていると思うと、勇気が湧いてくる。(30代男性)
- 。日常の些細なことを一緒に喜んだり、楽しんだり、共感できること。(30代女性)
- 現代という不安定な世の中で最小にして最大の絆をもち支えられているという自覚があります。人間関係や健康問題(八年前悪性の病気に)に押しつぶされそうになった時夫に支えてもらいました。(60代女性)
- 子供のおかげで成長できたし、親の気持ちも理解でき、視野も広がった。子供を通して喜びがたくさんあった。今は夫と二人で穏やかな毎日を送っている。(50代女性)
- 仕事で疲れて帰った時、子供の笑顔を見るとほっとする。子供が頑張っている姿を見ると元気づけられる。(40代男性)

- 自分の事だけではなく、家族の分まで、悩む事、苦しい事は多いけれども嬉しい事があった時の喜びは、何倍にもふくらむと思う。体の具合が悪い時に助けられたり、落ち込んでいる時になぐさめられたり、めんどうだと思ふ事以上になぐさめられ、いやされる。(40代女性)
- 具合が悪くなった時など離れていても電話したり、相談したり出来た。別居しているが、子供がいて、孫がいると言う事が良かったと思う。(60代女性)
- 会社でつらい事があっても、家に帰ってくるとあたたかく迎えてくれて、ニコニコの笑顔を見るとホッとする。また、会社の愚痴などを聞いてくれる。(30代男性)

【全ての方にお聞きします。】

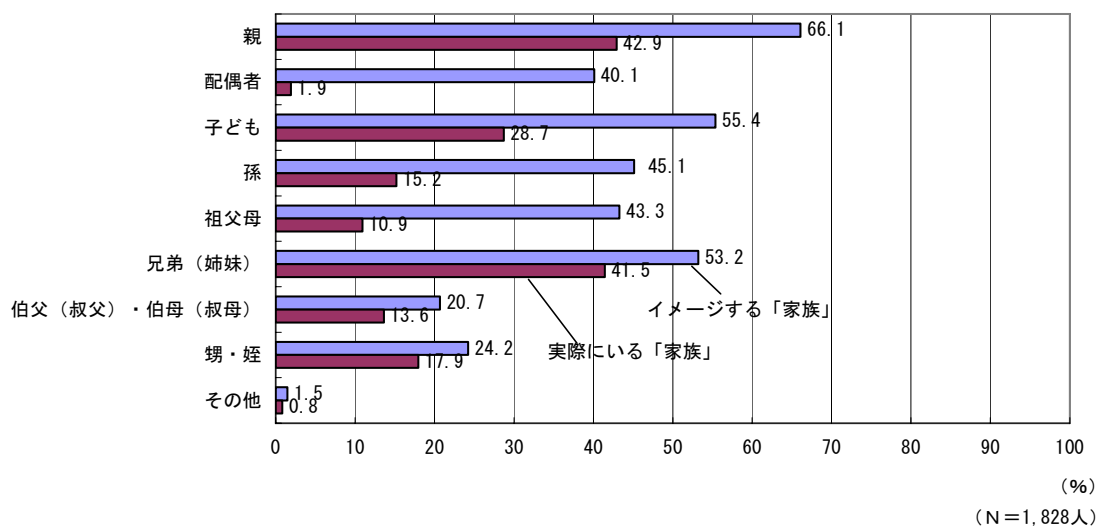
問11 (A) 現在、実際にいる・いないに関わらず、以下に掲げた親族関係のうち、あなたが「家族」とイメージするものすべてに対してA欄に○をして下さい。
 (B) また、あなたがイメージした家族(A欄に○をつけたもの)の中で、実際にいらっしゃる方に対してB欄に○をして下さい。



同居親族のうち、「家族」とイメージする親族の範囲については、割合の高い順に、「配偶者」91.4%、「子ども」87.6%、「親」70.8%となっている。

また、「孫」、「祖父母」、「兄弟(姉妹)」についても、割合がすべて4割以上となっている。

(2) 「家族」とイメージする別居親族の範囲とその実在性



別居親族のうち、「家族」とイメージする親族の範囲については、割合の高い順に、「親」66.1%、「子ども」55.4%、「兄弟(姉妹)」53.2%となっている。

また、「孫」、「祖父母」、「配偶者」についても、割合がすべて4割以上となっている。